

平成 29 年 11 月 8 日  
運輸安全委員会

## 羽田空港で発生した大韓航空機の重大インシデントに関する情報提供

運輸安全委員会は、平成 28 年 5 月 27 日に羽田空港で発生した大韓航空機の重大インシデントに関し、本日、国土交通省航空局へ情報提供を行いました。

### 1 重大インシデントの概要

大韓航空所属 HL7534（ボーイング式 777-300 型）は、平成 28 年 5 月 27 日 12 時 38 分頃、東京国際空港 C 滑走路を離陸滑走中、第 1（左側）エンジンに不具合が発生したため、離陸を中止のうえ、同滑走路上に停止し、脱出用スライドを使用して搭乗者を脱出させた。

### 2 調査内容

第 1 エンジンの破損及び出火について調査した結果、離陸滑走中、第 1 段高圧タービン・ディスクの一部が破断し、当該ケース及びエンジン・カバーを破損させたことが確認された。

また、第 1 段高圧タービン・ディスクの一部破断に伴い発生したエンジン振動により、エンジン部品（フェューエル・オイル・ヒートエクスチェンジャー）に亀裂が発生し、当該部位から漏れた燃料によってエンジン・カバーを含むエンジンの防火区域外で火災が発生したことが確認された。（別紙参照）

### 3 情報提供

上記調査内容について、本日付けで首席航空事故調査官から航空局安全部運航安全課長あて情報提供を行った。

#### 問い合わせ先

運輸安全委員会事務局 広報室 高橋、祖父江

電話 03-5253-8111（内線 54131、54133）

03-5253-8819（直通）

FAX 03-5253-1680

第1エンジンの火災の状況



① から拡大※

② から拡大※

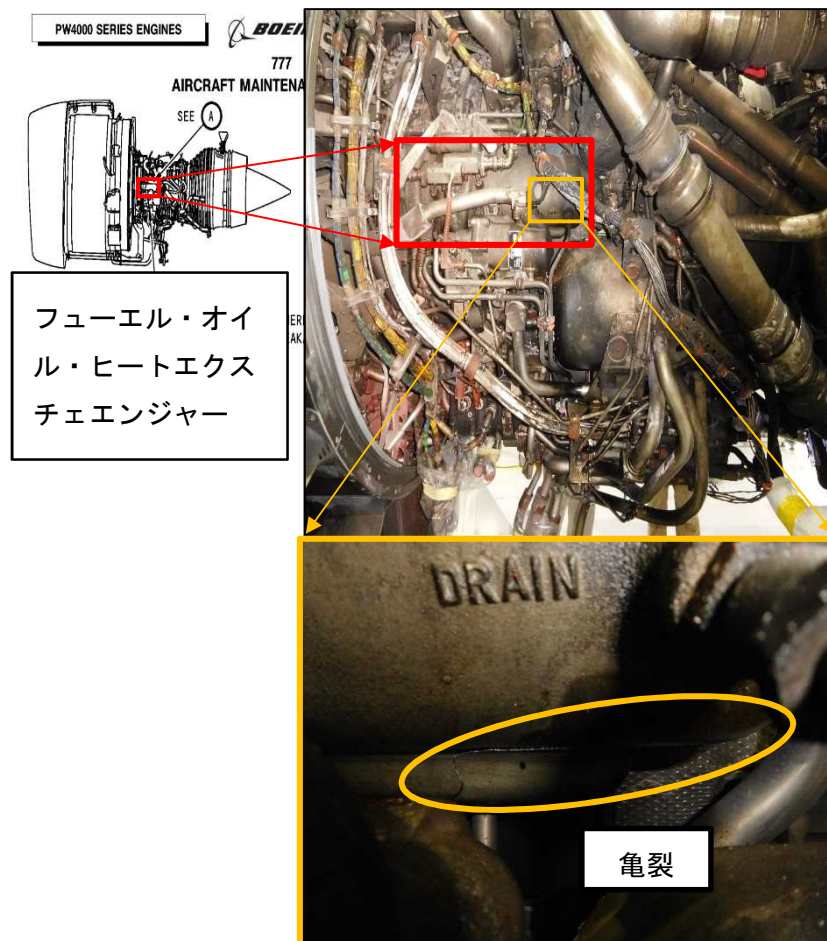


※エンジンの防火区域外での火災の痕跡：  
エンジン・カバーの欠損、焼損炭化、外装材の焼損溶解

### 破断した第1段高圧タービン・ディスクと破断片



### フューエル・オイル・ヒートエクスチェンジャーの亀裂



フューエル・オイル・ヒートエクスチェンジャーの本体ケースには、3箇所  
の亀裂及び焼損によるすずが確認され、一番長い亀裂は約34cmであった